



4月8日(木)、9日(金)、10日(土)、11日(日)

海老澤清杯・桜花賞

絶対エースの郡司が中心

4月8日から4日間で開催される川崎競輪は海老澤清杯・桜花賞がナイターで行われる。

もちろんシリーズの主役となるのは郡司浩平(神奈川99期)だ。2月当地で開催された全日本選抜で地元G1制覇の偉業を成し遂げた地元のエース。他にもガッツマーカール内藤秀久(神奈川89期)やオールラウンダーの松谷秀幸(神奈川96期)、新星松井宏佑(神奈川113期)らの若い力も揃う。地元勢は強力な布陣だ。北日本からは輪界屈指の先行型の新山響平(青森107期)とテクニシャン佐藤慎太郎(福島78期)がタッグを組んでV争いに食い込む。中近勢はやや手薄だが、古性優作(大阪100期)の総合力は抜群で、強力な別線を破るシーンもありそうだ。中四国勢はウイナーズカップで優勝したばかりの清水裕友(山口105期)や河端朋之(岡山95期)らが揃う。戦力が豊富なのは九州勢。山崎賢人(長崎111期)と好調北津留翼(福岡90期)を中心に、上田堯弥(熊本113期)や瓜生崇智(熊本109期)らの新しい戦力も加わり層が厚い。

S級主力選手

郡司 浩平

神奈川・99期



全日本選抜優勝の興奮が冷めやらないまま、再び郡司浩平が川崎バンクに登場する。昨年には小倉競輪祭で初タイトルを獲得して、年が明けた今年2月には川崎競輪場では55年ぶりに開催されたビッグレースでの優勝。このタイミングでホームバンクで勝つのは、まさに「持つ男」と言え

るだろう。しかし、郡司が結果を出したのは脚力や運だけではない。南関の軸として、献身的な走りもしてきたからその偉業とも言える。いまの南関勢の勢いを構築してきた立役者であることは間違いない。その後も大垣G3、松阪ウイナーズカップと優勝こそ逃しているもののきつちりと決勝まで駒を進めている。迎える地元川崎記念はもちろん優勝が責務。地元ファンの期待に応える走りを披露するだろう。

清水 裕友

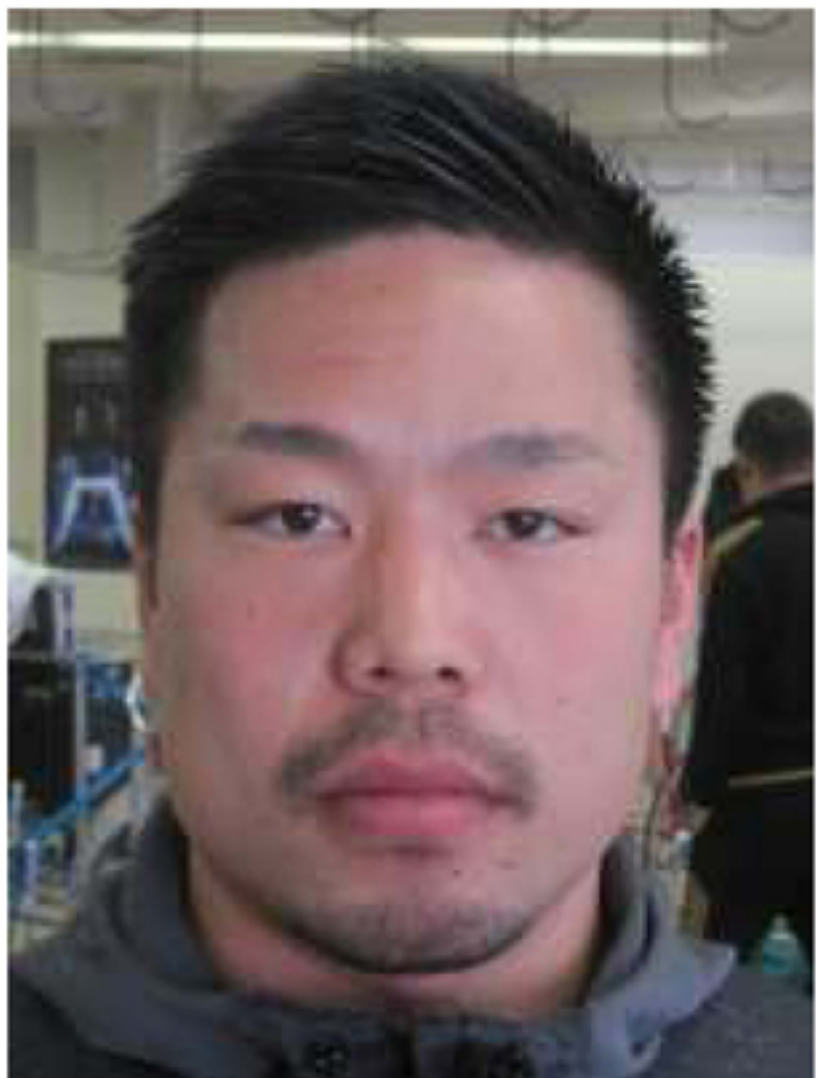
山口・105期



3月松阪競輪場で開催されたG2ウイナーズカップを制した清水裕友が登場する。昨年の後半は波に乗り切れずに、本人も「不甲斐ない一年」と振り返っていたが、今年に入ってから上昇の兆しは見えてきた。練習の成果が出てきている。自転車も含めてマッチしてきました」と語るように、尻上がりに成績も上がってきた。松阪は松浦悠士(広島98期)の番手回りのからの優勝ではあるが、まだまだ勢いが加速していきそうな気配は十分にある。賞金面でも年末のGP出場に向けて大きな前進となった。2月の全日本選抜では2勝を挙げて決勝進出しており、川崎バンクとの相性も問題無さそう。自力基本に柔軟な走りができる清水は必ずや優勝争いに食い込んでくるだろう。

古性 優作

大阪・100期



松阪ウイナーズカップで準優勝の古性優作が参戦。これまでにG1で6回、G2で3回決勝に進んでいるが、未だビッグレースでの優勝は無い。いつ勝ってもおかしくない実力、実績は十分にある。初タイトルに最も近い男」と言われて過言ではないだろう。松阪でも試行錯誤を凝らして決勝にピークを持って行った様子で、「決勝が一番良かった」と語っていたようだが、開催中も含めて常に強くなるために競輪と向き合っている印象がある。自力勝負はもちろん、強気に好位をさばく走りもこなせるオールラウンダー。常に車券の軸に据えておきたい選手だ。昨年の賞金ランキングは11位で惜しくもGP出場を逃しているが、今年初タイトル、GP出場に大きな期待がかかる。強敵揃うこの記念でも結果を出したいところ。

内藤 秀久

神奈川・89期



スピード競輪が主流になった現在でも、生粋のマーカールとして活躍を続けている内藤秀久。目標にする自力選手がレースを作りに行つてくれれば、自身自身の結果だけにこだわらず、敵の反撃に強烈なブロックを見舞う。競輪道を地で行くレーススタイルは、オールドファンの胸を熱くする。もちろん、南関の自力選手からの信頼も厚い。この二年はマークの決まり手も少なく、展開が向けばほとんど前を交わしていた印象でかなり状態は良い。自身が「集大成」と位置づけた2月の全日本選抜は準決勝で敗退。落車、欠場という結果に終わったが、もちろん地元記念に対する思いも強いはず。いま勢いがある南関を支えてきた立役者の一人である内藤が、地元記念で報われる場面も十分にありそうだ。



上田 堯弥

熊本・113期



113期でデビューをした上田堯弥は約8ヶ月でS級まで駆け上がる。高校まで野球に打ち込んでいた上田は自転車歴も浅く、スピード出世と言え。持ち味は地脚を生かしたパワフルな先行。昨年はヤングGPに出場して、昨年にはS級初優勝、G3で初優勝を果たすなど、着実にステージを上げて今年5月には京王閣で開催される日本選手権の出場も決まっている。2月に平塚を訪れた際には「だいぶ成績が安定してきたけど、決勝の着は良くない。ただ行くだけじゃなく、もう少し決勝の成績を良くしないと」と更なる高みを目指す。まだ2班の今期は基本的には予選スタート。簡単に駆けさせまいと別線の包囲網が敷かれるなか、力で見せ優勝争いに食い込むか。

URBAN BANK
かわさきケイリン

山崎賢人	松井宏佑	新山響平	上田堯弥	注佐藤慎太郎	x内藤秀久	▲古性優作	○清水裕友	◎郡司浩平	予想氏(最近成績)名
長崎	神奈川	青森	熊本	福岡	神奈川	大阪	山口	神奈川	府県
111	113	107	113	78	89	100	105	99	期別
S1	S1	S1	S2	SS	S1	S1	SS	SS	級別
6回	5回	7回	9回	2回	7回	7回	11回	8回	1着
3回	2回	3回	7回	8回	4回	5回	1回	6回	2着
0回	0回	2回	1回	4回	3回	3回	1回	0回	3着
5回	8回	9回	8回	11回	11回	4回	8回	7回	着外
0回	0回	0回	1回	0回	1回	0回	0回	0回	棄権
0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	失格
14回	15回	21回	26回	25回	26回	19回	21回	21回	出走数
42.80%	33.30%	33.30%	34.60%	8.00%	26.90%	36.80%	52.30%	38.00%	勝率
64.20%	46.60%	47.60%	61.50%	40.00%	42.30%	63.10%	57.10%	66.60%	連対率
64.20%	46.60%	57.10%	65.30%	56.00%	53.80%	78.90%	61.90%	66.60%	3連対率
7回	4回	12回	13回	0回	0回	1回	1回	3回	H数
8回	7回	13回	16回	0回	0回	4回	4回	5回	B数
113.71	111.40	113.57	108.80	115.00	112.36	116.05	118.14	118.42	競走得点

決勝想定メンバー